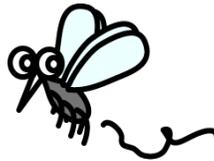




よつば保育園コラム 6月

しのぎやすい季節になったと思う間もなく、まもなく梅雨の季節です。これからの季節に増えるのが「虫刺され」です。虫さされは、とても日常的な皮膚病のひとつです。身近な虫が原因となることが多く、完全に予防することはなかなかむずかしいものです。今回は代表的な虫の特徴と、刺されたときの症状および治療法についてご紹介しましょう。虫に刺された！とわかったときにはすでに虫の姿がないことも多く、原因となった虫を特定することは難しいのが現実です。しかし、日常の生活で刺されやすい虫と、その症状を知っておくことで、適切な対応や治療ができます。代表的な虫の特徴と、刺されたときの症状は次の通りです。

●蚊



家の中、庭、公園、野山などどこにでも生息しています。体長5mmほどで、メスだけが吸血します。蚊が刺す時の唾液などに反応して皮膚が腫れたり痒くなると言われています。刺されてすぐに発疹ができ、かゆくなる反応と、1～2日後に症状が出る反応の両方がありますが、年齢であらわれ方が変化する傾向があります。また、蚊はデング熱・日本脳炎・マラリアなど感染症の媒体にもなるため注意が必要です。

処置

刺されたら流水で洗い、市販の虫刺され薬を使用します。症状が強い場合は、病院を受診しましょう。痒みがひどいときは冷やしてみましょ。症状が落ち着くこともあります。刺されたところをかかないようにしましょう。不潔な手や爪でかきむしって感染症を起こすと「とびひ」になり、内服治療が必要なことがあります。

●毛虫・毒虫



有毒の毛をもっているのはごく一部の毛虫（チョウやガの幼虫）です。毒のある毛虫に触れると、赤い小さな発疹がたくさんあらわれ、激しいかゆみをとまいません。じんましんのようになることもあり、搔くと広がっていきます。庭木の手入れなどをしたあとに、首や腕に集中してあらわれることがよくあります。

チャドクガというガの仲間の幼虫の場合は、触れた直後からかゆみを伴う赤み・膨らみを生じる例や1～2日後にかゆみの強い赤み・ぶつぶつが多発する例があります。

イラガというガの仲間の幼虫の場合は、触れた瞬間ピリピリとした痛みと発疹が生じ、1～2時間でいったん治まるものの翌日赤く腫れてかゆくなることがあります。

処置

体についた毛や粉を流水で洗い流します。市販の虫刺され薬でも対応できますが、痒みが激しい時や痛みがある時は受診しましょう

●蜂



多くはアシナガバチやスズメバチによるものです。頭や顔、手など露出部を刺されることが多く、刺された直後に、毒の刺激による反応により、激しい痛み・赤み・腫れが生じますが、多くの場合は数時間で治まります。

処置

まず安全な場所で安静にさせ、傷口に針などが残っている場合は抜きましょう。傷口を石けんと水で洗って、冷却しましょう

方法

できるだけ早く取り除きたいところですが、手やピンセットで抜こうとすると、手に刺さってしまったり、奥に押し込んでしまい、針に残っている毒素が体内に放出されてしまう場合があります。これにより痛みや腫れが悪化するケースも。毒素の放出を回避するために使えるのが、クレジットカードや運転免許証です。使い方は、カードの端で肌の表面をそっと横に払うようにこすると安全に取りやすいでしょう。カードが針をキャッチし、皮膚からゆっくりと抜き去ってくれます。



残っている針を掴んで抜きとる



カード状のものなどで横から払うように抜きとる

また、口をつけて吸い出すのは勧められません。蜂の毒を口に入れてしまうことになるからです。歯茎などから毒が侵入する可能性もあります。（毒を吸い出すための吸引器（リムーバー）が、アウトドア用品店などで手に入ります。野外によく行く方はもしもに備えて準備しておくのもよいでしょう。



口で毒を吸い出す



あれば、専用の吸引器（リムーバー）を使う

過去に虫に刺された経験がある場合、アレルギー反応としての症状が加わり、同じ種類の虫に刺された直後～30分以内に痒みを伴った赤み、膨疹（局所的な盛り上がりやふくらみ）、腹痛、顔色が悪い、多量の冷や汗、嘔吐、意識混濁がみられる時は、すぐに救急車を呼びましょう。

「アナフィラキシーショック」が考えられます。

【虫よけ予防対策】

- ・肌の露出を避ける（女の子はスカートよりもズボンを履きましょう）
- ・明るい色の服を着る（黒色に虫は寄りやすい）
- ・雨上がりの外出は避ける（虫が発生しやすい）
- ・室内に虫が侵入しないように網戸を常に閉め、寝室には就寝前に電気蚊取りなどで防虫する
- ・特に山間部や溪流沿いへおでかけする際は虫除け剤や携帯用電池式蚊取りを活用する
- ・幼虫の発生木に注意し、幼虫に触れないようにする
- ・虫除けスプレーや虫除けティッシュを使用する（首すじや手足）



★ポイント

虫刺されによる腫れの悪化（掻きむしり・異常な腫れ・痛みが強い場合）や不安があれば、医療機関を受診してください。



引用・参考ネット <http://t-meister.jp/hachi/lab/sasaretara/>